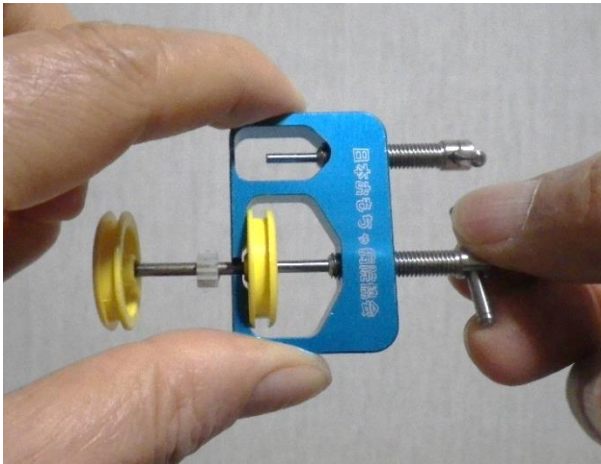


## 《ギヤ クランプ》 の製作

2018-06-30 ゆきや

日本おもちゃ病院協会のギヤプラー（特注仕様、会員価格1500円）は「すぐれもの」で、「プラレールの車輪を外す」、「ギヤを抜く」などの作業に、大変便利です。



ただ、交換するギヤ（幅や穴径などを調整した）をはめることには不向きです。

そこで、叩いたり押ししたりしていましたが、せっかくのギヤを傷める恐れもあり、はめる作業を簡便にするための治具が、会員の皆さんの知恵を集めて開発されました。

使ったのは、ラチェットバークランプ。クイックバークランプとも呼ばれます。

引き金状のレバーを握り込むたびに、左のアゴが少しずつ移動して、材料を締め付けます。

リリースボタンを押して、アゴを自由に動かせるので、早送りや取り外しが簡単です。

今右側にあるアゴを外してスライドバーの左端に逆向きに付ける事で、内側から外側に突っ張る使い方も出来ます。

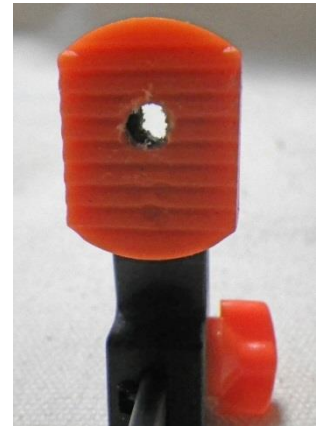
簡便なものは百均でも購入できます。



## ギヤクランプにするための加工

① 右のアゴに穴を開けます。

シャフトを通すための穴です。直径は3mmほどです。  
穴の位置は、やや上方に寄せています。



② 左のアゴに円形のマグネットを接着します。

これはやや下方に寄せています。

アゴに着いている赤いキャップは柔らかい為、ギヤを押す時にシャフトが車輪を突き抜けてしまいます。

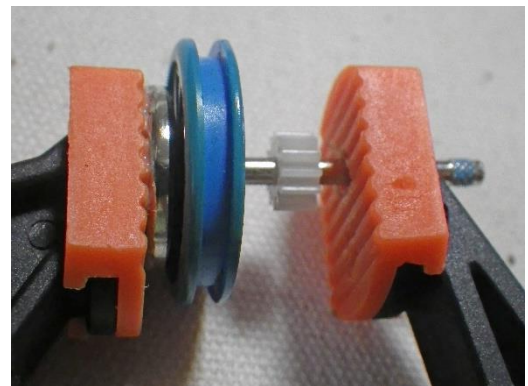
それを防ぐためですが、手ごろな金属板がなかなか無い為、百均で2個108円で買えるマグネットを使いました。

ワッシャーは穴が開いていて、役に立ちません。

磁石はシャフトを吸いつけて固定してくれ、一石二鳥です。



③ 使い方は写真の通りです。



④ 穴とマグネットを上下にずらしているのには訳があります。

写真の様に、車輪に連結棒が付いている場合に便利です。

連結棒とマグネットの厚みがほぼ同いため、連結棒を外すことなく、マグネットの外にはみ出させて、そのままギヤを押すことが出来るのです。

自作の参考になさってください。

